

ステンレスの魅力の世界に発信

イノウエ

▽：特殊金属・ステンレス商社のイノウエ（東京都千代田区、井上浩樹社長）は、4月21―26日にイタリア・ミラノで開催されたミラノデザインウィークに出展した山翠舎（長野市）に協力し、古民家の梁や柱の古木を用いたオブジェに使う鏡面性の高いステンレス材を供給した。オブジェはミラノデザインウィークで、世界トップクラスのファッションデザイナー・アーティスト育成者であるロッサーナ・オルランディ氏が主宰するギャラリィで展示し、ステンレスの販路拡大につなげている。

▽：井上社長は「オルランディのギャラリィで作品を並べられたことは奇跡であり快挙。世界クラスのラグジュアリーホテルや富豪が古材・ステンレスを生かしたオブジェを購入してくれそうだ」と手ごたえを感じている。現地では「これほど輝きが、鏡のようになるのか」などと鏡面研磨をかけたステンレス材に感嘆する声もあり、ステンレスの用途拡大をイタリアで体験した。今後はチタンやアルミ材の活用も視野に入り

そうだ。

▽：山水舎は長野県小諸市に、ホテル・宿をプロデュースしている企業「温故知新」と連携して、古民家ラグジュアリーホテルを建設中だ（2027年4月オープン）。ホテルにはイノウエ提供のステンレス材を用いた家具、オブジェも設置される見込みとなっている。近年自動車や建材などでステンレス需要の減退が嘆かれるが、こうした着実な営業や作品制作・販売がステンレスの需要増につながっていく。

（太）